

訪れる

由緒ある漁港

漁村としての雑賀崎の発展は、この土地の漁師が、独自の「一本釣り」をあみ出したことから始まります。かつての雑賀崎漁師は、九州・五島列島や房総半島など各地の海を自由に走り回りました。嵐のなか江戸へみかんを運んだ紀伊国屋文左衛門も、その航海術を参考にしたといわれます。現在は主に底引き網漁が行われ、漁船が港に戻ると、船の前で鮮魚の直接販売が行われます。獲れたての新鮮な魚が安く買えるため、地元の住民だけでなく、県外からも多くの人が集まり賑わいます。

旧正月と大漁旗

雑賀崎には旧暦のお正月を祝う風習があります。一年間の海の安全を祈るため、漁師は衣美須神社と極楽寺に参詣し、神様を船にお迎えます。港の前には露店が並び、色とりどりの大漁旗を掲げた漁船団を見ることができます。



迷路のような集落

雑賀崎の集落には、古くからの狭い路地と階段が、迷路のように複雑に張り巡らされています。集落に足を踏み入ると、家々の軒先には洗い場があり、かつて使われた井戸も見られるなど、どこか懐かしい漁村の生活文化を感じることができます。



雑賀崎の旬を楽しむ

雑賀崎の食文化



おおやさ
よもぎ入りの串団子で、きなこや黒蜜をかけて味わいます。明治時代から作られている雑賀崎の郷土菓子です。



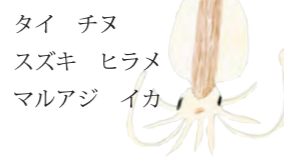
アシアカエビ
脚や触角などの紅白の模様からこう呼ばれているとされ、紀伊水道の冬の味覚を代表する海産物です。



こけら寿司
エソという魚を焼き、叩いて身をほぐしたものをご飯にのせた郷土寿司。叩く音から「とんとん」とも呼ばれます。

お魚カレンダー *時期は目安です

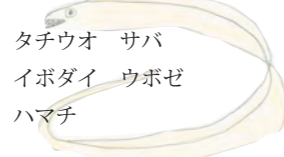
春 (4月~5月)



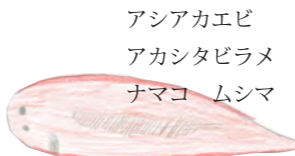
夏 (6月~8月)



秋 (9月~12月)



冬 (1月~3月)



鮮魚の直接販売について

直接販売は季節などによって時間が変わります。詳しくは雑賀崎漁協のホームページをご覧ください



雑賀崎へのアクセス

南海和歌山市駅・JR 和歌山駅より和歌山バス「雑賀崎行き」に乗車(約35分)。「雑賀崎」にて下車。

- 発行日 2017年12月22日
- 企画・編集 和歌山大学わかやま未来学副専攻「地方都市のまちなか再生」プロジェクト
- 作成協力 和歌山市 雑賀崎連合自治会 はまかせ通信 和歌山市立雑賀崎小学校6年生

知る

成り立ち



雑賀崎は、万葉集に「紀伊国の 雑賀の浦に出で見れば 海人の燈火 波の間に 見ゆ」と歌われるほど古くからの景勝地であり、室町時代には網漁業にきた漁師が住むようになったと伝えられています。また戦国時代の鉄砲集団・雑賀衆ゆかりの地として、石山合戦の際、鈴木孫市が浄土真宗の教如を織田軍からかくまったとされる「鷹ノ巣洞窟」があります。江戸時代になると、紀州藩の台場が「番所の鼻」「トンガの鼻」と呼ばれる二つの岬におかれ、紀伊水道の要となりました。今はそれぞれ「番所庭園」「雑賀崎台場跡」として整備され、かつての名残を見ることができます。雑賀崎には、彼岸の夕焼けの空に花が降るように見える「ハナフリ」を眺める風習があり、1960年に設置された雑賀崎灯台は夕日の絶景スポットとして有名です。

独特の景観

雑賀崎の集落は、山の斜面に家が密集して立ち並ぶ景観から、近年『日本のアマルフィ』と呼ばれています。アマルフィとは、イタリアの世界遺産『アマルフィ海岸』の中心都市で、崖に建物が張り付いたような独特の景観は、雑賀崎とよく似た印象を与えます。斜面に家々が密集した要因については諸説ありますが、一説には、大切な船の様子を家から見守るためであったとも言われます。



雑賀崎

おいなあよ

日本一の鉄砲集団・雑賀衆に愛された天然の砦
「天下御免の一本釣り」を生んだ漁師たちの記憶
家並みに抱かれた港に新春を告げる大漁旗
誇り高き紀州の漁村がここにある



1 日進月歩



有機野菜、無農薬野菜をできる限り使用し、地産地消をテーマに人に優しく、美味しい食事を楽しめます。リスが近くの森に遊びに来ることもあります。カフェメニューや季節のフルーツの酵素ジュースもあるので、とてもおすすめです。

2 道から見える和歌山城



ここから見えるお城は小さいですが、山と一緒に見えるのできれいです。天守閣に映える桜などは和歌山県第一位の花見スポットです。イベントもたくさん開催しています。そして、連立式層塔型 3重3階という天守構造になっています。

3 沖見の里



昔の雑賀崎小学校があった広場です。向かいのヤシの木が目印です。桃色のお花が咲きほころぶ沖見の里はまさに沖へ行く漁船を見守る母なる里です。探検気分楽しんでよし。みんなでピクニックパーティーを楽しむのもおすすめです!!

4 灯台が見える景色



この場所からは雑賀崎灯台と海が見わたせます。雑賀崎灯台は1960年3月31日に初点灯しました。雑賀崎では、彼岸の中日の日没時、ここから「ハナがフル」といって、沈む太陽から様々な色の光の玉が降るのを見る風習があります。

和歌山港・市街地
雑賀崎台場

名物絶景せいぞろい。港町雑賀崎にレッツギョー!

雑賀崎まち歩きマップ by 雑賀崎小学校6年生 × 和歌山大学生



おすすめコース (所要時間)

和歌山パノラマコース (約70分)

雑賀崎バス停 ▶ 漁港 ▶ 集落 ▶ 沖見橋 ▶ 石切場バス停

歴史まちなみコース (約40分)

雑賀崎バス停 ▶ 衣美須 ▶ 極楽寺 ▶ 沖見 ▶ 雑賀崎の里 ▶ バス停

絶景展望コース (約45分)

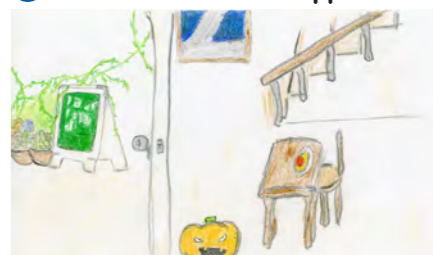
雑賀崎バス停 ▶ 漁港 ▶ 集落 ▶ 番所 ▶ 雑賀崎庭園 ▶ 灯台
※番所庭園もしくは灯台のみなら各30分

11 雑賀崎漁港



雑賀崎漁港は、直接販売になっていて、魚を新鮮なまま買うことができます。おもな魚の種類は、はもやえび類です。特に有名な食べ物は足赤えびというえびです。ぜひ雑賀崎漁港に来ているいろんな魚を買ってみてください。

10 ジャックアイランド



雑賀崎漁港の片隅で営む自宅カフェです。いろんな味のオムライスを楽しむことができます。自慢は何と言っても海を見ながら食事ができることです。季節により内装のデザインが変わるオシャレなカフェです。

9 ル・ヴォーグ 1008



この店は、2015年に営業を始めました。ここは、とても人気があり、よく満席になります。なぜそんなに人気があるのか、それは、だれもが1度夢見る海辺のカフェだからです。他にもテラス席からは海を見ながらゆったりできます。

写真スポット
商店・買い物スポット
飲食店
階段

N
0 50 100 200m

5 池田商店



池田商店では珍しい郷土料理が食べられます。こけらずし、あせ寿司、おおやさ、惣菜などがあります。おおやさは、よもぎ餅ときなこたれが絶妙なハーモニーをかもし出します。ぜひ、食べに来てください。

6 マルミヤ



創業60年ほどの服屋で今の店主は2代目の方です。ほかの店とちがう所は無料で服をなおせる事です。また婦人服・肌着・くつ下などいろいろ売ってます。雑賀崎の人々の明るさがいっぱいの服屋でした。ぜひ行ってみてください。

7 中出商店



中出商店は、漁業組合の近くにあり。果物や調味料、駄菓子まであります。この地域にとっては小さいスーパーマーケットのような存在です。平日のみ営業しています。大人から子供まで地域で愛されている最高のお店です。

8 雑賀崎の美しい町



雑賀崎の町は、家がだんだんに並び、まるでイタリアのアマルフィのような、美しい町です。昼には、サンサンとかがやぐ太陽や雲が見えて、夜には、キラキラと光る星たちが見えます。ここから見る雑賀崎の景色は、とても美しいです。